

## 開催概要

- 名称 産官学による豪雨対策NOW in 長岡
- 会期 2017年2月10日(金) 講演会 14:30～17:00  
交流会 17:15～18:30
- 会場 長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡
- 主催 一般社団法人 長岡GIS研究会
- 参加者 講演会 109名・交流会 61名
- 講演者  
※講演順  
敬称略
  - 基調講演 『いまどきの雨事情』  
国立大学法人 長岡技術科学大学 客員教授 藤田 昌一
  - 事例紹介 『GISで進める豪雨対応』  
～2mメッシュ標高データの利活用研究と豪雨による都市浸水被害への対応実例～  
一般社団法人 長岡GIS研究会 事務局長 徳永 忠行
  - 事例紹介 『長岡市の豪雨対策 ～下水道が作る安全・安心～』  
長岡市 土木部 下水道課 公務第一係 係長 西川 淳

### 講演光景



基調講演(藤田教授)



講演会場全景

### 主催者コメント

近年、多発する異常気象による自然災害、その一つであるゲリラ豪雨に関して、長岡技術科学大学 藤田教授からは“雨の降り方”が変わってきた事や最新の雨水対策手法、当研究会 徳永からはGISによる地形解析の研究や豪雨災害対応の実例、長岡市土木部下水道課 西川係長からは長岡市における下水道による雨水対策事業、産官学それぞれの立場から講演がありました。

産官学それぞれにおける豪雨災害に関する知識・知見・技術・実例・事業等が紹介されましたが、今後、産官学の連携を更に深めつつ、産官学が一体となった災害に強いまちづくりに向けて、新たなスタートを切りたいと考えています。

長岡地域を中心に、産官学の多様な業種の方々、非常に多くの方々からのご参加をいただき、平成18年10月の当研究会設立からの10周年を記念するような大変盛大な講演会&交流会となりました。

年度末の多用な時にも関わらずご参加いただいた方々へ、この場を借りて御礼申し上げます。